

地方独立行政法人玉野医療センター  
令和3年度の業務実績に関する評価結果

項目別評価

令和4年8月  
玉野市

地方独立行政法人玉野医療センターの概要

1. 現況（令和4年3月31日現在）

(1) 法人名 地方独立行政法人玉野医療センター

(2) 所在地 岡山県玉野市宇野2丁目3番1号

(3) 設立年月日 令和3年4月1日

(4) 運営する病院

病院名	所在地	病床数
玉野市民病院	玉野市宇野2丁目3番1号	一般病床 199床
		計 199床
玉野三井病院	玉野市玉3丁目2番1号	一般病床 60床
		療養病床 50床
		計 110床

(5) 役員状況

役員名	氏名	備考
理事長	佐藤 利雄	
理事	磯嶋 浩二	玉野三井病院 病院長
	山原 茂裕	玉野市民病院 病院長
	三島 康男	玉野市民病院 名誉病院長
	武久 洋三	医療法人平成博愛会 理事長
	前田 嘉信	岡山大学病院 病院長
監事	福原 一義	公認会計士・税理士
	小林 裕彦	弁護士

(6) 職員数（令和3年度末現在）

職種	正職員	再雇用職員	任期付職員	パート
医師	13人	4人	0人	64人
看護職	109人	13人	3人	40人
医療技術職	77人	3人	0人	6人
事務職	29人	0人	2人	18人
その他職種	18人	3人	2人	37人
計	246人	23人	7人	165人

2. 地方独立行政法人玉野医療センターの理念、方針

(1) 基本理念

～ 玉野に暮らす命は、玉野の地で守ります ～

玉野の地で祝福されて生を享け、

おだやかに育ち、

力強く根を張り、

そして玉野の地で安らかに生の終わりと向き合う。

そんな玉野の地で生きる人を支え続けます。

(2) 基本方針・経営方針

1. 地域の中核病院として、急性期から慢性期、予防医療まで全ての健康のトータルマネジメントを提供します。
2. 病める方の権利と意思を尊重した、安心・安全な医療を行います。
3. 地域との医療連携を深め、暮らしに密着した信頼される医療づくりに貢献します。
4. 優れた医療従事者の人材育成に努め、医療の質の向上をめざします。
5. 健全で自立した病院経営を行います。

1. 法人運営総括

令和3年4月1日に地方独立行政法人玉野医療センターを設立し、新法人の下で玉野市民病院、玉野三井病院の運営を効率的に行い、安定的な経営基盤を確立することで、持続可能な地域における中核医療機関として、医療提供を行うことを目指しています。

新法人スタートの令和3年度の医療を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う受診控えによる収益の悪化の懸念や、感染リスクへの徹底した対応に伴う医療従事者の疲弊などが長期にわたり続いており、経営面においても病院運営の面においても大変厳しい状況でありました。

このような状況の中、新法人の運営体制につきましては、理事長及び5人の理事で構成する理事会において、経営等に関する意思決定を行うための体制構築を進めたところですが、新型コロナウイルス感染症対策など、迅速な対応が求められる状況にあつては、理事長を中心に意思決定を行い、行政と連携したワクチン接種への積極的な取り組みや、発熱外来の設置、感染患者の受け入れのための病床を確保するなど、公的病院としての役割の遂行にも努めてまいりました。

また、玉野市民病院と玉野三井病院を一元管理できるような効率的かつ持続的な運営を目指し、法人本部において法人全体の企画運営、経理、人事給与処理を集約して行う体制の構築を行いました。

こうした取り組みにより、2病院協働での新型コロナウイルス感染症対策や新病院建設のための基本設計の取りまとめなどに対応しながら、各部門において実施可能なものから順次2病院の統合に向けた人事交流や業務の統一に向けた取り組みにも着手したところです。

経営状況につきましては、新病院を建設し、一つの病院に統合するまでの間は、これまでの2病院体制を継続するため、大幅な収益増加は見込めず、令和3年度においても入院、外来収益は目標を下回る結果となりましたが、新型コロナウイルス感染症への対応として、ワクチン接種や感染症患者の受け入れを積極的に行うなどした結果、医業収支比率は86.7%と目標値の96.7%を下回りましたが、経常収支比率は104.5%と目標値の100.9%を上回る結果となりました。

今後は、新型コロナウイルス感染症対策の動向など先行きの見通しが困難な状況にあり、医療を取り巻く環境もより一層厳しい状況となるものと思われませんが、地域の中核医療機関として持続可能な医療の提供に向け、効率的な病院運営と安定的な経営基盤の確立に努めてまいります。

2. 大項目ごとの特記事項

第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

担うべき医療提供体制については、救急医療などで新型コロナの影響等もあつて、目標値を達成できなかったが、リハビリテーション医療や検診・予防医療については、一部目標値を達成できたものの、在宅医療なども含め、将来の地域におけるニーズも視野に入れた今後の体制整備が課題である。また、小児・周産期医療については、市と連携しながら診療体制の充実に向けて岡山大学への要請等を行った。

その他としては、感染症への対応や免震構造を取り入れた新病院建設に向けて基本設計の取りまとめを行い、災害対応では事業継続計画（BCP）の策定など課題はあるものの、感染症への対応については、現在の2病院体制の下で2病院が協力し、自治体とも連携しながら新型コロナウイルス感染症に対応することができた。

医療の質の向上については、当面の2病院体制下にあつては、各病院単位では人的資源が限られる中、将来1つの病院となることも念頭に置きながら、2病院が協力することで効率的かつ効果的に医療を提供する体制の構築に着手し、医療の質の向上を図った。

第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項

法人の運営に関する懸案事項については、理事長を中心に戦略会議において定期的に協議・検討を行い、統合幹部会・統合運営委員会において2病院全体での周知を図り、職員の病院経営に関する認識や意識の共有を図った。

第4 財務内容の改善に関する事項

経営基盤の確立については、新型コロナ感染拡大の影響により、入院・外来患者数が減少し、新型コロナ患者の受け入れによる入院収益の増があつたものの医業収支比率は年度目標を下回った。一方、経常収支比率では、新型コロナ関連補助金により営業収益が増収となつたため黒字となり、年度目標を達成できた。

収入の確保と経費の節減については、新型コロナの影響による入院・外来患者数の減少、感染症患者の受け入れに必要な病床の確保の影響などにより、病床稼働率は年度目標を下回ったが、2病院で協力体制をとりながら、新型コロナワクチン接種や発熱外来の開設、新型コロナ患者の入院受入れを行うなど新型コロナ感染症対策に努め、玉野医療センターとしての使命を果たすことで結果的に収入確保につながった。

経費については、新型コロナ対策に必要な備品や医療機器の購入や改修工事等を行うに当たっては補助金を活用するなど、収支のバランスを考慮しながら行い収支改善に努めた。

3. 今後の展望

令和4年度に向けては、これまで取り組んだ経営基盤や医療機能等について改善・継承し、新型コロナ後の社会情勢や市民生活に柔軟に対応しながら、より良い地域医療の提供と効率的かつ効果的な病院運営の実現を目指す。

項目別実績

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	1 担うべき医療提供体制 (1) 救急医療

中期目標	急性期医療を担う地域の中核病院として「断らない医療」を実践するとともに、市内外の医療機関と連携し夜間及び休日における救急医療体制を確保し、1次救急から2次救急までの地域で担うべき救急医療については、地域のなかで完結できる体制を構築すること。
------	--

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価																	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等																
<p>ア 救急患者受入体制 玉野市民病院及び玉野三井病院のいずれも救急告示病院の指定を受け、それぞれの病院で救急患者の受け入れを行ってきたが、一体的な運用を行うことで病院間での役割分担と連携を深め、機能の集約、受診体制の充実を図ることで、1次救急から2次救急を始めとした地域救急を積極的に受け入れ、断らない医療を実践する。</p> <p>イ 市内外の医療機関との連携 急性期病院からの救急専門医派遣の受け入れと地域の医療機関との連携により、救急医療体制の強化を図る。</p> <p>ウ 救急隊との連携 救急隊との情報共有のための研修会及び救急救命士の病院実習等の機会を通して、救急隊との連携を密にし、救急患者を受け入れしやすい環境を整える。</p> <p>【目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急受入件数</td> <td>1,000 件</td> </tr> <tr> <td>救急受入率</td> <td>75.6 %</td> </tr> <tr> <td>救急搬送割合</td> <td>32.3 %</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和6年度目標	救急受入件数	1,000 件	救急受入率	75.6 %	救急搬送割合	32.3 %	<p>2病院による一体的な運用を目指し、病院間での役割分担、機能の集約、診療体制の再編を図ることで、1次救急から2次救急を始めとした地域救急を積極的に受け入れる。</p> <p>【目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和3年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急受入件数</td> <td>896 件</td> </tr> <tr> <td>救急受入率</td> <td>67.7 %</td> </tr> <tr> <td>救急搬送割合</td> <td>29.0 %</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和3年度目標	救急受入件数	896 件	救急受入率	67.7 %	救急搬送割合	29.0 %	<p>新型コロナウイルス感染症への対応が求められる厳しい状況の中で、院内感染等への影響も考慮しながら、2病院間での当直医師派遣や担当医師決定ルールの見直などを行い、断らない医療を実践するための体制を整え、救急受入件数の増加に向け取り組みました。</p> <p>また、岡山市立市民病院から救急専門医の派遣を受けて玉野市外に搬送する件数の減少に取り組みました。</p> <p>救命救急士の病院実習を行い救急隊に病院の実情を把握してもらい救急搬送時に必要となる情報を共有することに取り組みました。</p> <p>市内医療機関にしめる2病院の救急受入れの割合は増加したものの、目標値の達成はいずれも下回る結果となった。</p>	3	3	<p>新型コロナウイルス感染症によるコロナ禍の影響下にあつて、件数及び割合のいずれも目標を下回る実績となったが、そのなかにあつても市内の救急の大半を玉野市民病院及び玉野三井病院が中心となって受け入れを行っており、救急医療に対する貢献を評価した。</p> <p>玉野市民病院及び玉野三井病院の連携により市内救急の受け皿としての役割が果たされるよう期待する。</p>
項目	令和6年度目標																				
救急受入件数	1,000 件																				
救急受入率	75.6 %																				
救急搬送割合	32.3 %																				
項目	令和3年度目標																				
救急受入件数	896 件																				
救急受入率	67.7 %																				
救急搬送割合	29.0 %																				
		<p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急受入件数</td> <td>862 件</td> <td>705 件</td> <td>717 件</td> </tr> <tr> <td>救急受入率</td> <td>65.2 %</td> <td>60.3 %</td> <td>59.1 %</td> </tr> <tr> <td>救急搬送割合</td> <td>27.9 %</td> <td>25.9 %</td> <td>24.3 %</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	救急受入件数	862 件	705 件	717 件	救急受入率	65.2 %	60.3 %	59.1 %	救急搬送割合	27.9 %	25.9 %	24.3 %			
項目	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績																		
救急受入件数	862 件	705 件	717 件																		
救急受入率	65.2 %	60.3 %	59.1 %																		
救急搬送割合	27.9 %	25.9 %	24.3 %																		

項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	1 担うべき医療提供体制 (2) 小児・周産期医療

中期目標	安心して子どもを産み育てられる環境を守っていくため、市内外の医療機関と連携・役割分担を行いながら、外来診療の継続及び入院診療の再開を目指すなど、市民ニーズに沿った診療機能を備えること。
------	--

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
<p>ア 小児医療 小児専門医の確保による外来診療の継続と入院診療の再開を目指すとともに、重症疾患や緊急処置が必要な患者に対する専門治療のため、小児救急医療支援病院（県南東部医療圏内に2施設）や近隣の救急医療機関と密接に連携し、安心して子育てできる環境を支援する。</p> <p>イ 周産期医療 周産期専門医の確保による婦人科外来診療を継続するとともに、周産期医療を取り巻く環境や医療提供体制の変化を踏まえつつ、総合周産期母子医療センター（県南東部医療圏内に1施設）や地域周産期母子医療センター（同2施設）と密接に連携し、安心して産み育てられる環境を支援する。</p>	<p>ア 小児医療 小児専門医の確保による外来診療の継続と入院診療の再開を目指すとともに、小児救急医療支援病院や近隣の救急医療機関との連携を強化する。</p> <p>イ 周産期医療 周産期専門医の確保による婦人科外来診療を継続するとともに、総合周産期母子医療センターや地域周産期母子医療センターとの連携を強化する。</p>	<p>小児医療については、岡山大学からの非常勤医師派遣に加え、他の医療機関とも連携して現在の外来診療体制を維持しつつ、新たに医師を確保するための取り組みとして、玉野市と連携しながら岡山大学に要望を行いました。</p> <p>周産期医療については、婦人科として岡山大学からの非常勤医師の派遣により、現在の外来診療体制を維持しつつ、周産期医療への取り組みについても、玉野市と連携しながら岡山大学に要望を行いました。</p> <p>いずれの診療科も全国的な医師不足の状況の中、入院診療の再開については複数の常勤医師確保が必要となるなど課題は多く、岡山大学に対し、医師確保の要望と合わせ、市民の医療サービス向上につながる取り組みについても意見交換等を行いました。</p>	3	3	全国的な医師不足の状況から小児、周産期いずれも新たな医師の確保には至っていないが、市と共同で医師確保に向けた関係機関への働きかけを実施するとともに、診療所の閉院などによる機能縮小の流れのなかで小児医療、周産期医療いずれも医療提供体制が維持されている点などを評価した。

項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	1 担うべき医療提供体制 (3) リハビリテーション医療

中期目標	専門スタッフの配置や機能面での充実を図り早期の在宅復帰を支援するとともに、退院後も安心して在宅生活を過ごすことができるよう退院後のフォロー体制を整備するなど、リハビリテーション医療の充実を図ること。
------	---

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価																	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等																
<p>ア リハビリテーション実施体制 早期治療・早期退院を実現するため、365日リハビリテーション体制を維持し治療の初期段階からリハビリテーションによる介入を行うとともに、十分なスタッフを配置することで回復の目安となるアウトカム評価の向上を図り、患者の在宅復帰を支援する。</p> <p>イ 退院後のフォロー体制 退院後も在宅での自立した生活が継続できるよう、リハビリテーションスタッフが自宅まで訪問し、在宅でも治療（リハビリテーション）が続けられるようサポート体制を整える。</p> <p>ウ 外来リハビリテーションの実施 外来診療が終わった後や退院した後も継続してリハビリテーションを必要とする患者に対して、必要なリハビリテーションが提供できるよう、外来診療の1つとしてリハビリテーションを実施する。</p> <p>【目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リハビリ提供単位数</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>実績指数</td> <td>55.3</td> </tr> <tr> <td>訪問リハビリ件数</td> <td>4,800 件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和6年度目標	リハビリ提供単位数	4.5	実績指数	55.3	訪問リハビリ件数	4,800 件	<p>ア リハビリテーション実施体制 365日リハビリテーション体制を維持するとともに、2病院間での職員配置や機能集約について検討し、必要部署への重点的なスタッフ配置を行う。</p> <p>イ 退院後のフォロー体制 将来的な在宅での治療（リハビリテーション）の需要増加を見据え、訪問リハビリ部門の充実を図りサポート体制を整える。</p> <p>ウ 外来リハビリテーションの実施 2病院間での機能集約を進めるとともに、必要なリハビリテーションが提供できるよう、外来リハビリテーションを継続する。</p> <p>【目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和3年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リハビリ提供単位数</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>実績指数</td> <td>55.3</td> </tr> <tr> <td>訪問リハビリ件数</td> <td>4,545 件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和3年度目標	リハビリ提供単位数	4.5	実績指数	55.3	訪問リハビリ件数	4,545 件	<p>玉野市民病院においては、365日リハビリテーション体制を維持して切れ目のないリハビリテーションを提供してきました。</p> <p>また、退院して在宅復帰した患者さんにも訪問リハビリテーションを提供することにより必要なリハビリテーションを提供しました。</p> <p>外来リハビリテーションを継続しつつ、機能集約が図れるように2病院のリハビリテーションスタッフの資質向上を図ってきました。</p>	3	3	<p>リハビリテーション医療については、以前から高い水準で医療が提供されている。</p> <p>本年度は実績指数の数値こそ下がってはいるものの高い数値を示しており、リハビリテーション医療が高い水準で維持されている点を評価した。</p> <p>引き続き、患者の意向を踏まえた在宅への復帰及び自宅での療養を支援できるよう医療提供体制を維持していただけるよう期待する。</p>
項目	令和6年度目標																				
リハビリ提供単位数	4.5																				
実績指数	55.3																				
訪問リハビリ件数	4,800 件																				
項目	令和3年度目標																				
リハビリ提供単位数	4.5																				
実績指数	55.3																				
訪問リハビリ件数	4,545 件																				
		<p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リハビリ提供単位数</td> <td>4.5</td> <td>4.3</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>実績指数</td> <td>55.3</td> <td>54.9</td> <td>52.9</td> </tr> <tr> <td>訪問リハビリ件数</td> <td>4,460 件</td> <td>2,832 件</td> <td>3,915 件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	リハビリ提供単位数	4.5	4.3	4.7	実績指数	55.3	54.9	52.9	訪問リハビリ件数	4,460 件	2,832 件	3,915 件			
項目	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績																		
リハビリ提供単位数	4.5	4.3	4.7																		
実績指数	55.3	54.9	52.9																		
訪問リハビリ件数	4,460 件	2,832 件	3,915 件																		

項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	1 担うべき医療提供体制 (4) 検診・予防医療

中期目標	疾病の早期発見・早期治療へ向けて、人間ドックや検診等の総合的な予防医療の充実を図るとともに、市の健康福祉部門や保健機関と連携し、健診受診率の向上など市民の健康増進に対する取組みに協力を行うこと。
------	---

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価																									
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等																								
<p>人間ドック、生活習慣病予防健診、特定健診、企業健診、予防接種など様々な予防医療を実施することで、疾病の早期発見または生活習慣病の予防につなげていくとともに、市の施策と連携し健診受診率の向上に向けた啓発活動への取組みに寄与する。</p> <p>【目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック・健診受診者数</td> <td>13,000 件</td> </tr> <tr> <td>予防接種件数</td> <td>4,800 件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和6年度目標	人間ドック・健診受診者数	13,000 件	予防接種件数	4,800 件	<p>新病院での機能集約を見据え、実施体制、職員配置等を整理し、効果的な体制を検討する。</p> <p>【目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和3年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック・健診受診者数</td> <td>11,781 件</td> </tr> <tr> <td>予防接種件数</td> <td>4,800 件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和3年度目標	人間ドック・健診受診者数	11,781 件	予防接種件数	4,800 件	<p>人間ドック等の健診・予防医療については玉野市等と連携して取り組むとともに、玉野三井病院の人間ドックについては効果的な実施のため、玉野市民病院に機能集約を進めています。</p> <p>予防接種については、実績値に新型コロナウイルスワクチンの接種件数（45,775件）は含んでいませんが、行政と連携し積極的に取り組みを行いました。</p> <p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人間ドック・健診受診者数</td> <td>11,374 件</td> <td>11,299 件</td> <td>11,328 件</td> </tr> <tr> <td>予防接種件数</td> <td>4,804 件</td> <td>5,419 件</td> <td>4,258 件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	人間ドック・健診受診者数	11,374 件	11,299 件	11,328 件	予防接種件数	4,804 件	5,419 件	4,258 件	4	4	<p>本年度の実績はいずれの項目も目標値を下回っているが、当初実施を想定していなかった新型コロナウイルスワクチンの接種では、行政と連携し市内でも中心的に取り組んでいただいた点を高く評価した。</p> <p>引き続き、新型コロナウイルスワクチンを含む予防接種への対応と健診受診率の向上に向けて、行政との連携に協力いただけるよう期待する。</p>
項目	令和6年度目標																												
人間ドック・健診受診者数	13,000 件																												
予防接種件数	4,800 件																												
項目	令和3年度目標																												
人間ドック・健診受診者数	11,781 件																												
予防接種件数	4,800 件																												
項目	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績																										
人間ドック・健診受診者数	11,374 件	11,299 件	11,328 件																										
予防接種件数	4,804 件	5,419 件	4,258 件																										

項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	1 担うべき医療提供体制 (5) 在宅医療

中期目標	団塊の世代が75歳となる2025年を見据え、自宅等の住み慣れた環境での療養を希望される人が増えていることから、地域包括ケアシステムの構築に向け、かかりつけ医や介護事業所等と連携し、訪問診療・訪問看護・訪問リハビリテーションなどの在宅医療への取組みを推進すること。
------	---

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価																									
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等																								
<p>ア 地域包括ケアシステム 国の進める地域包括ケアシステムの構築に向けて、かかりつけ医や介護事業所等との連携強化を図り、今後の需要増加が見込まれる在宅医療の取組みを推進する。</p> <p>イ 在宅療養支援病院 玉野三井病院が認定を受けていた在宅療養支援病院の機能を引き継ぎ、24時間体制で緊急対応できる体制を整備し、安心して自宅で療養生活が送れるよう在宅療養環境を支援する。</p> <p>【目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>在宅復帰率</td> <td>85.0 %</td> </tr> <tr> <td>訪問診療件数</td> <td>1,200 件</td> </tr> <tr> <td>訪問看護件数</td> <td>1,700 件</td> </tr> <tr> <td>緊急の往診件数</td> <td>44 件</td> </tr> <tr> <td>在宅の看取り件数</td> <td>10 件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和6年度目標	在宅復帰率	85.0 %	訪問診療件数	1,200 件	訪問看護件数	1,700 件	緊急の往診件数	44 件	在宅の看取り件数	10 件	<p>ア 地域包括ケアシステム 在宅部門の機能集約・人員配置の適正化を進めるとともに、かかりつけ医や介護事業所等との連携強化を図る。</p> <p>イ 在宅療養支援病院 玉野市民病院でも在宅療養支援病院の認定を申請し、両病院並びに地域の医療機関と連携し在宅での療養環境を支援する。</p> <p>【目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和3年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>在宅復帰率</td> <td>84.4 %</td> </tr> <tr> <td>訪問診療件数</td> <td>1,175 件</td> </tr> <tr> <td>訪問看護件数</td> <td>1,556 件</td> </tr> <tr> <td>緊急の往診件数</td> <td>44 件</td> </tr> <tr> <td>在宅の看取り件数</td> <td>10 件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和3年度目標	在宅復帰率	84.4 %	訪問診療件数	1,175 件	訪問看護件数	1,556 件	緊急の往診件数	44 件	在宅の看取り件数	10 件	<p>地域包括ケアシステムの構築に向けて在宅部門に人員を配置して訪問診療や訪問看護に努めてきました。 玉野市民病院では人員確保に課題があり、在宅療養支援病院の認定申請には至りませんでした。</p>	3	3	<p>市内診療所の閉院等により在宅医療の提供体制が縮小傾向となるなかにあつて、玉野三井病院を中心に訪問診療が目標値を上回った点を評価した。</p> <p>他の項目はいずれも減となっているが、最終年度の目標達成に向けて、市内の病院、診療所や介護施設等とも連携し市内全域がカバーされ、希望する方に必要な医療が提供される体制が整うよう期待する。</p>
項目	令和6年度目標																												
在宅復帰率	85.0 %																												
訪問診療件数	1,200 件																												
訪問看護件数	1,700 件																												
緊急の往診件数	44 件																												
在宅の看取り件数	10 件																												
項目	令和3年度目標																												
在宅復帰率	84.4 %																												
訪問診療件数	1,175 件																												
訪問看護件数	1,556 件																												
緊急の往診件数	44 件																												
在宅の看取り件数	10 件																												
		<p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>在宅復帰率</td> <td>84.2 %</td> <td>82.0 %</td> <td>80.8 %</td> </tr> <tr> <td>訪問診療件数</td> <td>1,166 件</td> <td>1,217 件</td> <td>1,189 件</td> </tr> <tr> <td>訪問看護件数</td> <td>1,508 件</td> <td>1,740 件</td> <td>1,148 件</td> </tr> <tr> <td>緊急の往診件数</td> <td>44 件</td> <td>45 件</td> <td>36 件</td> </tr> <tr> <td>在宅の看取り件数</td> <td>10 件</td> <td>12 件</td> <td>13 件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	在宅復帰率	84.2 %	82.0 %	80.8 %	訪問診療件数	1,166 件	1,217 件	1,189 件	訪問看護件数	1,508 件	1,740 件	1,148 件	緊急の往診件数	44 件	45 件	36 件	在宅の看取り件数	10 件	12 件	13 件			
項目	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績																										
在宅復帰率	84.2 %	82.0 %	80.8 %																										
訪問診療件数	1,166 件	1,217 件	1,189 件																										
訪問看護件数	1,508 件	1,740 件	1,148 件																										
緊急の往診件数	44 件	45 件	36 件																										
在宅の看取り件数	10 件	12 件	13 件																										



項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	1 担うべき医療提供体制 (6) 災害医療

中期目標	市の防災担当部門と連携し、災害時であっても診療体制及び医療機能の確保ができるよう、新病院において耐震化等の適切な災害対策を実施するとともに、近隣の医療機関と協力し災害時医療への対応を図ること。
------	--

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
<p>災害時であっても途切れることなく、診療体制及び医療機能が維持されるよう災害時活動マニュアルを具備し、定期的な訓練と災害時を想定した医薬品、水、食料等の備蓄、設備の維持管理を行うとともに、公的な医療機関として医療救護活動を通して、災害時における医療の中心的な役割を担う。</p> <p>また、新病院は最新の耐震基準に準拠した施設にするとともに、津波浸水等への対策を行うことで、将来的に見込まれる南海トラフ地震等の災害へ備える。</p>	<p>災害時活動マニュアルの見直し、定期的な訓練と災害時を想定した医薬品、水、食料等の備蓄、設備の管理を行う。</p> <p>また、新病院の設計段階から災害への対応を想定し、必要な機能、設備が備えられるよう協議・検討を進める。</p>	<p>災害時活動マニュアルの見直しをおこなってきました。</p> <p>新病院の設計では免震構造を備え付け災害時に地域の医療の拠点として運用できる整備をすることにしました。</p>	2	3	<p>現在の2病院はいずれも老朽化が進み、大規模な災害への対応という点では不足している状況であり、かつ、災害時活動マニュアルも備えてはいるものの見直しを行っている点から自己評価を「2」とするものであるが、現在計画している新病院では大規模な災害へ対応した施設として計画しているところであり、かつ、新たな施設に対応した災害活動マニュアルも準備することから評価を「3」とした。</p>

項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	1 担うべき医療提供体制 (7) 新たな感染症への対応

中期目標	公的な医療機関として、インフルエンザやコロナウイルス等の全国的に感染拡大が危惧される新たな感染症が発生した場合には、市及び関係機関と連携し、早期の収束に向けて地域における中心的な役割を担うこと。
------	---

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
<p>新病院の整備に合わせて患者動線や諸室の配置に配慮した造りとするなど、治療を必要とする患者に対して適切な医療が提供できる体制を確保するとともに、市及び関係機関、医療圏内の感染症指定医療機関（第1種：1施設、第2種：2施設）と連携し、早期の収束に向けて地域における中心的な役割を担う。</p>	<p>市及び関係機関、医療圏内の感染症指定医療機関と連携し、感染症に対する医療を提供する。 また、新病院の設計段階から感染症対応を想定した患者動線や諸室の配置を検討し、適切な医療が提供できる体制を確保する。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の入院受入れ病床を12床確保して、入院治療を行ってきました。 また、新型コロナウイルスワクチン接種については玉野市の要請を受けて積極的に行ってきました。 新病院の設計については感染症患者の専用入り口の設置、陰圧診察室を設けて、できる限り動線の交差や感染リスクの軽減を図る構造を設計に反映してきました。</p>	4	4	<p>新型コロナウイルス感染症への対応では、市内で唯一の入院病床を確保するとともに、ワクチン接種や発熱外来等においても市内の中心的な役割が果たされた点を高く評価した。 また、新病院の計画でも新たな感染症への対応を想定した施設とするなど、将来的な感染症対応にあっても玉野医療センターには本市の中核としての役割を期待する。</p>

項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	2 医療の質の向上 (1) 地域医療への貢献

中期目標	地域の中核病院として、将来にわたって地域医療を支える医療機関であることの自覚と責任を持って、地域住民に信頼される安全・安心な医療を提供すること。
------	--

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価																									
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等																								
<p>2病院が培ってきた診療体制を引き継ぎ、多様な診療機能をもった施設を展開することで、他院からの受け入れ、治療後のかかりつけ医への転院など地域医療の架け橋として、地域住民及び地域の医療機関から信頼される病院を目指す。</p> <p>【目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>22.0 %</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>12.0 %</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和6年度目標	紹介率	22.0 %	逆紹介率	12.0 %	<p>地域住民及び地域の医療機関から信頼される病院を目指し、紹介患者の積極的な受け入れや退院患者のかかりつけ医等との調整により、病病・病診連携を強化する。</p> <p>【目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和3年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>21.0 %</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>10.7 %</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和3年度目標	紹介率	21.0 %	逆紹介率	10.7 %	<p>地域住民及び地域医療機関から信頼をいただけるよう「断らない医療」の実践を職員に対し改めて周知を図るなど、紹介患者数の増加やかかりつけ医への逆紹介件数の増加に取り組んできました。</p> <p>なお、紹介率、逆紹介率の算出については、従来の集計方法ではすべての紹介、逆紹介を集計できていなかったため、見直しを行いました。</p> <p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>20.7 %</td> <td>33.8 %</td> <td>31.0 %</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>10.3 %</td> <td>31.4 %</td> <td>29.5 %</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	紹介率	20.7 %	33.8 %	31.0 %	逆紹介率	10.3 %	31.4 %	29.5 %	3	3	<p>一部、集計方法の見直しによる影響もあるが、断らない医療の実現に向けて紹介患者及び逆紹介患者の増加に取り組んでいる点を評価した。</p> <p>地元の医療機関との役割分担及び信頼関係構築のためにも引き続き紹介患者及び逆紹介患者増加の取組みに期待する。</p>
項目	令和6年度目標																												
紹介率	22.0 %																												
逆紹介率	12.0 %																												
項目	令和3年度目標																												
紹介率	21.0 %																												
逆紹介率	10.7 %																												
項目	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績																										
紹介率	20.7 %	33.8 %	31.0 %																										
逆紹介率	10.3 %	31.4 %	29.5 %																										

項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	2 医療の質の向上 (2) 相乗効果の発揮

中期目標	経営統合による相乗効果を最大限発揮するため、両病院がこれまで培ってきた診療実績を活かし相互の連携・補完関係を強化することで、医療水準の向上に努めること。
------	--

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
市立の公立病院、企業立の民間病院として運営されてきた2つの病院の統合により、それぞれが培ってきた医療技術や知識を共有し、共通意識のもとで医療スタッフの融合を図ることで、医療水準の全体的な底上げを目指す。	市立の公立病院、企業立の民間病院として運営されてきた2つの病院の統合により、それぞれが培ってきた医療技術や知識を共有し、共通意識のもとで医療スタッフの融合を図る。	<p>2病院が相互の診療機能等を理解して更に強化するため人事交流等を計画しました。</p> <p>2病院の連携により実施した主な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナワクチンの日曜接種の実施（1日1050人計6回）</li> <li>・新型コロナ病床12床の2病院看護師による運用</li> <li>・玉野三井病院放射線科医師による読影の協力体制</li> <li>・玉野市民病院から玉野三井病院への当直医師の派遣</li> <li>・訪問診療における協力体制</li> <li>・給食部門における献立の統合等の取り組み</li> <li>・広報誌の「Harmony」の2病院合同発行</li> <li>・2病院間の人事異動（令和4年度4月1日から順次実施）</li> <li>・定例の統合会議の実施（月6回程度）</li> <li>・新病建設に関するWG会議の実施</li> </ul>	3	3	<p>新病院が完成するまでの2病院体制では、別々の場所で運営することによる連携の難しさはあるが、その中でも2病院による共同・協力による実施や職員の往来等が始まっていることなどを評価した。</p> <p>新病院での集約も見据え、さらなる職場間での人事交流や診療機能の相互連携に期待する。</p>

項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	2 医療の質の向上 (3) チーム医療の実施

中期目標	高度・複雑化する医療・介護ニーズへ対応するため、患者に携わる様々な専門職が多職種連携し情報と方針の共有を行うことで、退院後の状態をイメージしながら総合的なチーム医療を実践し、早期の在宅復帰に向けた支援を促進すること。
------	--

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
<p>医師、看護師を始め、検査及びリハビリ等の医療技術スタッフ、社会福祉士など多職種が集まり定期的にカンファレンスを実施し、早期の在宅復帰に向けたチーム医療の推進を図る。</p> <p>また、感染対策チーム（ICT）や栄養サポートチーム（NST）など、他職種で構成される医療チームを積極的に活用し、療養環境のサポートを行う。</p>	<p>病院内の他職種によるチーム医療だけでなく、病院間で連携したチーム医療が実現できるよう、診療情報の共有と現場交流を進める。</p>	<p>2病院で患者転院に伴うチームカンファレンスや診療等、連携したチーム医療が行えるよう多職種が参加する会議を開催し他職種と交流できる場を設けました。</p> <p>実施した取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ感染症患者受入病床の運営</li> <li>・休日における新型コロナワクチン大規模接種</li> <li>・新型コロナワクチン職域接種</li> </ul>	3	3	<p>新型コロナウイルスへの対応では、2病院で協力し、これまでに単独の病院では実現困難であった大規模な取組みに対してチームで対応している点を評価した。</p> <p>今後は、新型コロナウイルス関係以外の診療にあっても病院間でのチーム医療での対応に期待する。</p>

項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	2 医療の質の向上 (4) 医療従事者の確保及び育成

中期目標	診療体制の充実に欠かすことのできない、医師・看護師等の医療従事者について関係機関と連携・協力体制を構築するなど、必要な人材の確保に努めること。特に、医師については、将来にわたって診療体制を確保するためにも、市と連携し医師派遣体制の充実に努めること。また、医療に携わる者の知識や技術の向上を図るとともに、専門性を持った人材の育成に努めること。
------	--

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
<p>ア 医療従事者の確保 岡山大学を始めとする教育機関、市内外の医療機関との連携により、医師及び研修医の派遣・受入れ体制を確保するとともに、合同説明会への参加や病院見学会の開催など多様な広報活動を通じて、多様で優秀な人材の確保に努める。 特に、医師については地域枠の設定など、国・県が進める医師偏在対策の動向を注視し、制度の活用など地域医療の継続に必要な人員の確保に向けて積極的に推進する。</p> <p>イ 医療従事者の育成 地域医療の基幹病院として、地域に根ざした実地での研修を通じて経験の蓄積や知識の習得により人材の育成に寄与する。</p>	<p>ア 医療従事者の確保 統合後の診療体制、人員体制等に加え、今後見込まれる重点分野への職員の配置を整理し、必要な職種、人数等を確保する。</p> <p>イ 医療従事者の育成 新たな診療体制のもと、職場交流を図りながら新たな機能に触れることで、経験を蓄積し全体的な人材育成を促す。</p>	<p>医師については、小児科をはじめとして困難ではあるが確保に努めるとともに、後期研修医師の受け入れなども行いました。 2病院で相互に交流を図りつつ人材育成に努めてきました。</p>	3	3	<p>常勤医としての確保はできていないものの、後期研修医や医学生の受入れを相互の病院で行うなど、将来的な医療従事者の確保に向けて新たな取り組みが実施されている点を評価した。 今後もこれを継続し、新たな常勤医師の確保につなげていただけるよう期待する。</p>

項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	2 医療の質の向上 (5) 調査・研究・治験への取組み

中期目標	調査・研究・治験等への積極的な取組みにより医療水準の向上に貢献すること。
------	--------------------------------------

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
<p>地域医療へ果たすべき役割のみならず将来に向けた医療水準の向上への一助として、積極的に調査・研究・治験への取組みを推進する。</p> <p>また、院内外研究会等の機会を設け職員の意識高揚を図るとともに、研究成果を共有することで、医療水準の向上に努める。</p>	<p>2 病院体制のもとでの診療結果や研究成果を報告し、積極的に調査・研究・治験への取組みを推進する。</p>	<p>コロナ禍の影響により、機会は減少したものの、院内外での研究発表の機会を提供して職員の意識高揚を図ってきました。</p>	2	3	<p>新型コロナウイルスによる影響もあって集まって行う研究発表の場が減少し、職員参加の機会はなくなってしまったが、岡山大学の寄附講座を数年前から実施しており、実地での診療により患者や病院スタッフへ研究成果が還元がされ、これをもって地域医療への貢献がなされている点などを評価した。</p> <p>コロナ禍が終息し、研究発表の場が再開されれば、職員の意識高揚及び医療水準向上への貢献として積極的に参加されることを期待する。</p>

項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	3 患者サービスの向上 (1) 患者中心の医療の提供

中期目標	断らない医療の実践を基本に、患者の視点に立った患者中心の安全・安心な医療の提供を行うとともに、患者やその家族との対話を通して、信頼が得られるよう分かりやすい説明を心がけること。
------	--

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
<p>ア インフォームドコンセントの徹底 患者の知る権利、自己決定権、自律の原則を尊重する行為であることを根拠とし、医療に関する情報を共有することで、医療スタッフと患者との相互理解のもと治療が進められるよう、患者の尊厳を守り、患者・家族の権利に配慮したインフォームドコンセントの徹底を行う。</p> <p>イ 安静な療養環境の提供 投書箱等の活用により、患者や家族等からの様々な意見、ニーズを把握し、サービスの向上につなげるとともに、院内環境を整備することで療養に専念できる環境を提供する。</p>	<p>ア インフォームドコンセントの徹底 2 病院間での意識共有、診療情報の取扱いへの配慮等を踏まえ、患者・家族の権利に配慮したインフォームドコンセントの徹底を行う。</p> <p>イ 安静な療養環境の提供 院内環境の整備に向けて患者や家族からの様々な意見、ニーズの把握に努める。</p>	<p>インフォームドコンセントの徹底については、引き続き確実な履行に努めた。医療メディエーターの研修を受講した。 2 病院間での意識共有、診療情報の取扱いへの配慮等については、新病院整備に向けた運用に関するWG等で今後詰めていくこととなる。 また、安静な療養環境の提供については、院内環境に関する患者や家族からの様々な意見、ニーズの把握に努めた。</p>	3	3	<p>医療スタッフと患者との相互理解のもと治療を進めるために医療メディエーターの研修等を活用し、インフォームドコンセントの徹底を図るとともに、安静な療養環境を提供するためのニーズの把握に努めている点を評価した。 引き続き取組みを継続することで、患者との信頼関係を構築してもらいたい。</p>



項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	3 患者サービスの向上 (2) 地域との交流

中期目標	市内イベントへの参加や地元コミュニティとの交流、院内イベント等の開催を通じて、病院のことを知ってもらうための機会を積極的に設け、安心して来院できる環境づくりに努めること。
------	---

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
<p>院内の施設を活用し、病院見学会、院内イベントや健康教室、公開講座などの機会を通じて、地域の方々との交流の機会を持ち、来院しやすい環境づくりに努める。</p> <p>また、市内で開催されるイベント等への参加を行うことで、より身近な存在として地域住民に求められる病院となるよう交流機会を設けていく。</p>	<p>これまで実施してきた院内の施設を活用したイベントや健康教室、公開講座などについて引き続き実施するとともに、新たな交流の機会の場を設けられるよう協議検討を行う。</p>	<p>院内イベント等については、新型コロナウイルス感染症対策のため実施できませんでした。</p> <p>こうした厳しい状況中ではありましたが、感染対策に留意しながら新病院建設に関する市民説明会を開催し、新しい病院についての情報提供を行い、市民参加と理解促進の場を提供しました。</p>	3	3	<p>新病院建設に関する進捗状況は、市民説明会としてお知らせする機会を設けることができたが、新型コロナウイルス感染症によるコロナ禍の中にあつて、院内イベント等による地域の方との交流の機会を設けることが出来ない状況であったため、これらを踏まえて自己評価のとおりとした。</p> <p>状況の好転が見られた際には、積極的な交流の機会が得られるよう期待する。</p>

項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	3 患者サービスの向上 (3) 医療安全対策

中期目標	患者が安心して安全な医療を受けられる環境を整備するため、医療安全に係る情報の収集と分析により医療事故の発生を未然に防ぐとともに、院内感染防止対策に関して指針に基づく適切な対策を実施すること。
------	---

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
<p>ア 医療安全対策 組織的な医療安全への取組みを進めるため、医療安全対策チームを設置し、医療安全管理者のもと院内の状況把握及び分析を行うとともに、研修等の機会を通じて全職員で医療事故防止に対する認識を共有することで、医療安全に係る体制を継続的に確保する。</p> <p>イ 感染防止対策 感染対策チームを設置し、定期的に院内の巡回を行うことで院内感染状況の把握、感染防止対策の実施状況を確認するとともに、院内感染対策を目的とした職員への研修を通して、感染防止対策を徹底する。</p>	<p>ア 医療安全対策 医療安全対策チームを設置し院内の状況把握及び分析を行うとともに、病院間での横断的な情報共有を行い、組織的な医療安全への取組みを推進する。</p> <p>イ 感染防止対策 感染対策チームを設置し、院内感染状況の把握、感染防止対策の実施状況を確認するとともに、病院間での横断的な情報共有を行い、感染防止対策を徹底する。</p>	<p>医療安全委員会を毎月開催してヒヤリハット報告の分析、個別事例の検討を行い、対策を決定して周知を行うなどの活動をしました。</p> <p>感染対策チームによる院内ラウンドを毎週行い感染対策の実施状況を確認してきました。</p> <p>いずれも必要に応じて対策を検討し2病院で共有することにしました。</p>	3	3	<p>コロナ禍の状況にあつて、一段と医療安全及び感染防止に配慮し定期的な状況確認及び対策がなされ、かつ2病院で共有されている点を評価した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による影響が当面の間残る中では、引き続き医療安全、感染防止の対策として万全な対応が行われるよう期待する。</p>

項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	3 患者サービスの向上 (4) 積極的な情報発信

中期目標	病院の機能や経営状況に加え、診療や疾病予防に関する情報など、ICT（情報通信技術）等も活用しながら分かりやすい形での積極的な情報発信に努めること。
------	---

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
ホームページや広報誌、病院紹介パンフレットなど、様々な広報媒体並びにICT（情報通信技術）等を活用し、多くの方に当院の取組み、診療情報などを積極的に発信することで、地域に根ざした、地域の医療機関としての認知度の向上を図る。	病院のみならず法人としても情報発信に努め、法人運営における透明性の確保と地域に根ざした地域の医療機関としての認知度の向上を図る。	<p>市民病院が発行していた広報誌「Harmony」を、2病院合同での発行とし、積極的に情報発信をして地域に根差した医療機関としての認知度を得られるようにしました。</p> <p>ホームページについては、当面の2病院体制の間の措置として、法人のホームページと2病院のホームページをリンクさせることで、一つの法人として情報発信する体制を整えました。</p> <p>しかしながら、ホームページの内容については、今後充実を図る必要があるものと認識しています。</p>	3	3	<p>ホームページや2病院共同の院内広報誌などを活用し積極的な情報発信に努めるとともに、地方独立行政法人へと運営が変更となったことによる周知等を図っている点を評価した。</p> <p>自己評価にもあるとおり、情報公開についてホームページへ掲載する情報量が少ないため、順次情報発信に努めてもらいたい。</p>

項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	3 患者サービスの向上 (5) コンプライアンスの徹底

中期目標	医療法を始めとする関係法令の遵守はもとより、個人情報保護や情報公開に関しても適切な対応を行うこと。
------	---

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
<p>内部統制を所管する委員会を設置し、医療法を始めとする関係法令の遵守を徹底するとともに、定期的に全職員へ研修を実施するなど、適正な病院運営に努める。</p> <p>また、個人情報保護や情報公開について、玉野市の個人情報保護条例及び情報公開条例に準拠し、カルテ等の個人情報の保護と患者及び家族等への情報公開について適切な対応を行う。</p>	<p>内部統制委員会を設置し、医療法を始めとする関係法令の遵守を徹底するとともに、個人情報の保護と患者及び家族等への情報公開について研修を実施するなど、適正な病院運営に努める。</p>	<p>内部統制委員会の設置については現在準備中となっていますが、個人情報保護や情報公開について、玉野市の個人情報保護条例及び情報公開条例に準拠し、カルテ等の個人情報の保護と患者及び家族等への情報公開については、これまで通りの対応を行っています。</p>	3	2	<p>地方独立行政法人への移行に伴い、法人内部で例規を定めているものの、人員配置等の問題から内部統制委員会の設置はできておらず、早期の立ち上げが望まれる。</p> <p>また、病院では診療情報などの個人情報の取扱いを行う機会も多いので、令和5年度に予定されている個人情報保護法の改正に伴う対応についても、適切な対応が望まれる。</p>

項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	4 医療機関との連携

中期目標	地域の医療機関のなかで診療機能の役割分担と集約化を図ることで、それぞれが特色を持ちながら相互に連携し、地域全体で地域医療を支えることのできる体制の構築を図り、地域完結型医療の実現を目指すこと。
------	--

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
<p>地域包括ケアサービスの実現に向けて、地域の医療機関との機能分化及び役割分担を進めるとともに、晴れやかネットへの積極的な参画により医療情報ネットワークを活用した診療情報の共有を行い、病院完結型医療から地域完結型医療へと転換を図ることで、地域全体で医療を支える体制の構築を目指す。</p>	<p>地域の医療機関との機能分化及び役割分担の具体的な方策等について関係者を交えて協議し、地域医療連携体制の構築に向けて検討を始める。</p>	<p>玉野市医師会に2病院の病院長が積極的に参画するとともに、理事長もオブザーバーとして理事会に出席するなど、地域における医療連携のための体制構築に向け努めました。</p>	3	3	<p>地域の医療機関等との連携に向けてまずは地元の医師会との関係を強化する取り組みが始められた点を評価した。</p> <p>玉野市全体の医療を支えていくためには玉野医療センターだけでなく、他の医療機関との協力が必要になるため、積極的な医療連携が図られるよう期待する。</p>

項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	5 関係機関との連携 (1) 行政機関との連携

中期目標	健康福祉部門を始めとした、市行政の各関係部署と連携し、健康づくり支援や疾病予防等に係る諸計画及び施策の推進に協力を行うこと。
------	--

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
市の行政施策と連携し、健診率の向上、ヘルスケアサービスとの連動等により、健康増進及び疾病予防施策へ寄与することで、市が設立する公立の医療機関としての役割を果たす。	市の行政施策と連携し、健診率の向上、ヘルスケアサービスとの連動等の取り組みを進める。	健診部門を強化して健診件数の増加に取り組んできました。	3	3	昨年度は特に新型コロナウイルス対応に関する行政機関との連携が目立った年であった。 このこと以外にも検診・予防医療にもあった機能集約による受け入れ枠の拡大など疾病予防の取組みに寄与している点を評価した。

項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	5 関係機関との連携 (2) 医師会等との連携

中期目標	将来的な地域包括ケアシステムの構築に向けて、地元医師会や診療所、介護事業所等と連携し、可能な限り住み慣れた地域での治療・療養ができるよう体制の構築に向けた協議を進めること。
------	--

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
<p>地元医師会を始め、かかりつけ医、介護事業所等との連携により地域全体で医療・介護にあたることのできるよう、周辺の先進事例の研究も行いながら、地域包括ケアシステムの構築を目指す。</p>	<p>地域包括ケアシステムの構築に向けた具体的な協議を行う。</p>	<p>玉野市医師会については、2病院の病院長が積極的に参画するとともに、理事長もオブザーバーとして理事会に出席し、玉野市医師会との良好な関係構築に努めました。</p>	3	3	<p>医師会の協議の場へ参画し積極的な連携の強化を図っている点を評価するものであるが、さらに踏み込んだ連携のために紹介率、逆紹介率の向上による診療に関する具体的な連携についても引き続き取り組んでもらいたい。</p> <p>また、新病院の開院も控えるなかにあっては一段と医師会を始めとした地域の医療機関との役割分担と医療連携を進めてもらえるよう期待する。</p>

項目別評価

大項目	第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
小項目	5 関係機関との連携 (3) 教育機関との連携

中期目標	岡山大学を始め、市内外の教育機関と連携し、卒後教育や生涯教育のための実践的な研修の場として人材育成に協力することで、研修医の受入れや安定的な医療従事者の確保を図るなど、相互協力関係に基づく人材の確保及び育成に努めること。
------	--

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
地域医療の最前線を担う医療機関であると同時に、実地教育の場として積極的に研修の受け入れを行うことで、教育機関と相互協力関係を構築し、安定的な人材の確保及び育成を進める。	病院を実地教育の場として提供し、実際の医療現場を経験してもらうなど教育機関への協力を行うとともに、地元の就職先として将来の地域医療を担う人材の確保を図る。	岡山大学総合診療科に寄付講座を開設し、非常勤医師2名による臨床研究の受け入れを行うとともに、後期研修医2名及び医学部学生3名の研修の受け入れを行った。	3	3	<p>医師を目指す医学生や専門学校の実習生を受入れ、実地教育の場としての将来の医療従事者育成へ貢献していることについて、評価するものである。</p> <p>将来的な医療従事者の確保のためにも引き続き積極的な教育機関との連携を行ってほしい。</p>



項目別評価

大項目	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項
小項目	1 業務運営体制の構築 (1) 運営体制

中期目標	地方独立行政法人制度を最大限活用し、主体性を持った意思決定ができるよう運営体制を確立するとともに、病院全体が一丸となって、社会情勢の変化や医療保険制度改革に迅速かつ柔軟に対応できるよう運営体制の最適化を図ること。
------	--

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
<p>地方独立行政法人制度のもと、理事長がリーダーシップを発揮し、迅速な意思決定と職員への周知を徹底することで効率的な運営を行うとともに、独立した法人として職員一人ひとりが独立採算の原則を理解し、経営に関する責任と意識を持って自主的かつ弾力的に動くことのできる運営体制を構築する。</p> <p>また、法人全体として2病院体制から1病院体制へと変化を迎える中であっても、柔軟かつ一体的に運営を行う。</p>	<p>理事長及び理事会のもと、迅速な意思決定と職員への周知を徹底することで効率的な運営を行うとともに、職員一人ひとりが独立採算の必要性について理解を深める機会を創出する。</p> <p>また、1法人2病院体制であることを最大限活用し、病院間での柔軟な機能分化・職員配置の見直し等一体的な運営を行う。</p>	<p>理事長が2病院の会議、委員会に参画し、また2病院合同の会議、委員会を主催して理事長のリーダーシップのもと法人の独立採算の方針による業務運営を主導しました。</p> <p>健診部門では人間ドックを玉野市民病院に統合するなど機能集約を進めてきました。</p>	3	3	<p>2病院合同での院内会議を相互に実施するなど、一体的な運営を行う中で、新型コロナウイルスワクチンの大規模接種や人間ドックの機能集約などが実施され、これまでになかった取組みが行われている点を評価した。</p> <p>今後、新病院へと集約されていくなかあってもさらなる機能分化や人事交流などにより2病院が一体となる取組みがなされることを期待する。</p>

項目別評価

大項目	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項
小項目	1 業務運営体制の構築 (2) 管理体制の強化

中期目標	内部監査体制の構築による内部統制の強化とともに、関係法令の遵守及び職員倫理の確立を図ること。
------	--

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
内部監査を実施する部門を設置するとともに、内部統制を担当する役員及び監事が適切な職務の執行を確保できるよう管理体制を整備する。	内部監査を実施する部門を設置し、内部統制を担当する役員及び監事が適切な職務の執行を確保できるよう管理体制を整備する。	現在の2病院体制では、事務部門の職員体制が十分でないため、内部監査を実施する部門の設置に至っていないが、新病院への統合時には内部統制を担当する役員を中心とした適切な職務の執行を確保できるよう管理体制の整備に努める。	2	2	内部統制委員会と同様に内部監査部門も人員配置の関係から設置には至っておらず、早期の立ち上げに向けて課題である。 独立した1つの組織として地方独立行政法人内部でのガバナンスを担保するためにも、適切な体制の構築が望まれる。

項目別評価

大項目	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項
小項目	1 業務運営体制の構築 (3) 外部評価等の活用

中期目標	病院の運営状況について、第三者からの客観的な視点で評価を受け、評価結果に基づき必要な見直しを行うことで業務の効率化を図ること。また、得られた評価結果に対して、どのような反映を行ったかを適切に示すことで、開かれた組織とすること。
------	---

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
<p>監事による法人の監査及び評価委員会による第三者視点からの病院運営に係る評価を受けることで、適宜必要な見直しを行い業務の効率化を図る。</p> <p>また、公益財団法人日本医療機能評価機構が提供する病院機能評価等を活用し、中立的、科学的、専門的な見地からの評価を受けることで、適切な病院運営を維持する。</p>	<p>監事による法人の監査及び評価委員会による第三者視点からの病院運営に係る評価を受け、必要な業務の見直しを行う。</p>	<p>監事に役員会へ出席いただき、意見をいただくとともに、法人としての第1期となる令和3年度決算の監査については、令和4年6月27日に行いました。</p>	3	3	<p>理事会への監事の出席、監事監査等により外部からの評価により指摘を受けられる体制が整備されている点の評価する。</p> <p>しかしながら、監事監査においては一部の業務に対して指摘もなされているとのことで、早期に適切な対応がなされるよう期待する。</p>

項目別評価

大項目	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項
小項目	2 職場環境の整備 (1) 働きやすい職場環境の整備

中期目標	ワークライフバランスや職場の安全衛生の確保、コミュニケーションの活性化などを通じて職場環境の改善を図り、働きやすい職場環境の整備に努めること。
------	---

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
<p>ア ワークライフバランスへの配慮 育児・介護休業制度の適正な運用により仕事と家庭の両立を支援する。</p> <p>イ 院内施設整備 院内に病児病後児保育施設を整備し、職員の利用も促すことで安心して子育てができる環境作りを進める。</p> <p>ウ コミュニケーションの活性化 職員互助会等の活動を支援し、職員間のコミュニケーションの円滑化を図る。</p> <p>エ 専門性の向上 医師や看護師等の業務の多様化、複雑化に対応するため、必要に応じて医療クラークや看護助手等の配置を行い、業務の専門性の向上を図る。</p>	<p>ア ワークライフバランスへの配慮 休暇・休職・休業制度を整備し、仕事と家庭の両立を支援する。</p> <p>イ 院内施設整備 病児病後児保育事業を職員も利用可能とし、安心して子育てしながら業務に集中できる環境を作る。</p> <p>ウ コミュニケーションの活性化 職員互助会等の活動を支援し、職員間のコミュニケーションの円滑化を図る。</p> <p>エ 専門性の向上 全体的な業務及び職員配置の見直しのなかで、必要に応じて補助者及び助手等を配置することで、専門性向上による業務の効率化を図る。</p>	<p>働きやすい環境整備のため、法人設立時に制定した就業規則等については、ワークライフバランスに配慮し規定を整備しました。</p> <p>しかしながら現状では、一部職員に長時間の超過勤務が発生しており、業務体制の見直しなどにより、早急に改善する必要があるものと認識しています。</p> <p>専門職が専門性の高い業務に集中して取り組める環境整備として、業務のタスクシフトについて検討を開始しました。</p> <p>その他福利厚生としては、病児病後児保育について、職員も利用可能としています。また、玉野勤労者福祉サービスセンターに加入し、福利厚生事業の向上に努めました。</p>	2	2	<p>新たな給与・人事制度のなかで休暇、休職、休業などの福利厚生制度が設けられワークライフバランスへ配慮した制度とはなっているが、一部の業務においては職員への負荷が生じており、制度が活かされていない点は早急に改善が望まれる。</p> <p>また、以前より継続して実施する内容にはなるが、病児病後児保育の利用や医療クラーク、看護助手等の雇用によるタスクシフトについては、引き続き働きやすい職場環境を提供するためにも継続して実施されることを期待する。</p>

項目別評価

大項目	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項
小項目	2 職場環境の整備 (2) 職員の職務能力の向上

中期目標	医療の進歩に伴って必要となる知識や技術が高度・複雑化するなかで、より専門性を持った知識や技術の習得のため、研修制度や専門資格取得に関する支援等について充実を図ること。また、独立した法人として業務を継続するために、法人運営に携わるプロパー職員の育成を図ること。
------	---

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
<p>ア 研修制度及び資格取得支援制度の充実 専門的な知識や技術の習得を推進し、研修会への参加、資格の取得等について助成を行うなど、研修制度及び資格取得支援制度の充実を図る。</p> <p>イ プロパー職員の育成 法人運営に関する業務の習熟のため、段階的な出向職員からプロパー職員への業務の引き継ぎ、外部研修への参加、雇用の確保等によりプロパー職員の育成を図る。</p>	<p>ア 研修制度及び資格取得支援制度の充実 研修会への参加、資格の取得等に係る助成制度を設け、専門的な知識や技術の習得を推奨する。</p> <p>イ プロパー職員の育成 監査法人等の専門的な支援や外部研修への参加による、地方独立行政法人制度の実践によりプロパー職員の法人運営に関する業務の習熟を図る。</p>	<p>業務に必要な研修会への参加や資格取得を推奨することとしました。 プロパー職員を育成するため外部監査法人による支援を行いました。</p>	3	2	<p>研修及び資格取得支援については取得を推奨するものの、人員配置の関係から長年にわたっての研修や資格取得が難しい状況となっており、配置の検討も含めての課題である。</p> <p>また、市からの出向職員の段階的な引き上げに伴うプロパー職員の育成が間に合っている状態とは言えず、一部の職員に業務の負荷がかかる状況が見られる。</p> <p>2病院間での職員配置の検討することにより柔軟な対応がなされるよう期待する。</p>

項目別評価

大項目	第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項
小項目	2 職場環境の整備 (3) 効果的な人事・給与制度の構築

中期目標	職員の業績や能力、職責などを適正に反映し、職員のモチベーションの向上と組織としての活性化を図るため、職員の意欲を引き出す人事評価制度を構築すること。また、給与制度は、社会一般の情勢を踏まえた適正な水準とし、病院の業績を踏まえた上で、職員の能力・成果を公正に反映させたものとする。
------	---

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
法人の移行に合わせて、新たな人事給与制度へと転換を図るなかで、職員の業績や能力、職責に応じた仕事が適正に反映される、公正・公平な人事給与制度を構築し、職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図る。	新たな人事給与制度のもとで、適正な運用ができるよう制度の理解と周知を図ることで組織の活性化を図る。	玉野市から人事給与制度に精通した職員の派遣を受け、適正な人事給与制度の運用ができるよう具体的な運用面の整理を行うとともに、自律した法人運営に向けプロパー職員の教育を行った。 また、人事評価制度については、令和4年度から実施できるような制度構築を行いました。	3	3	早期の人事評価制度の運用開始に向けて、市からの出向職員の派遣を受けて、具体的な整理を行い、令和4年度からの実施に向けて準備がなされた点を評価した。 新年度以降に制度の運用が開始されてからも、順次生じるであろう課題等に対し、適切な対応と定期的な見直しが必要であるため、合わせてプロパー職員の育成にも取り組むよう期待する。

項目別評価

大項目	第4 財務内容の改善に関する事項
小項目	1 経営基盤の確立

中期目標	病院の経営統合による業務の効率化を最大限発揮し、中期計画期間を通じて病院運営に係る経営基盤の確立を図ること。
------	--

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価																									
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等																								
<p>本中期計画期間中には、新病院建設に関する費用が計上されるため、全体で見れば一時的な収支の悪化が見込まれるものの、経営統合に合わせて行う業務の見直し等により、新病院建設費用を除いた収支では、中期計画期間中を通して収支の均衡を目指し、新病院の開院に向けて経営基盤を確立する。</p> <p><b>【目標】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>86.4 %</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>89.4 %</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和6年度目標	医業収支比率	86.4 %	経常収支比率	89.4 %	<p>新病院建設に係る設計業務及び建設業務が本格化することで、多額の整備費用が計上されることとなるが、地方債等の財源を活用することで単年度収支には大きな影響は生じない見込みである。一方で、新たな感染症の流行により患者数の見通しが困難な状況となっているが、経営統合による業務の見直し等を進めることで収支の均衡を目指す。</p> <p><b>【目標】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和3年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>96.7 %</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>100.9 %</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和3年度目標	医業収支比率	96.7 %	経常収支比率	100.9 %	<p>2病院体制の間であっても経営統合によるメリットを最大限に生かせるように2病院の業務の見直しを行いました。</p> <p>主な検討内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤の共同調達</li> <li>・患者給食メニューの統一</li> <li>・SPD業務の統一</li> <li>・人間ドック業務の市民病院への集約</li> </ul> <p><b>【実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>96.7 %</td> <td>89.6 %</td> <td>86.7 %</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>100.6 %</td> <td>95.4 %</td> <td>104.5 %</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	医業収支比率	96.7 %	89.6 %	86.7 %	経常収支比率	100.6 %	95.4 %	104.5 %	3	3	<p>本年度は新型コロナウイルス感染症への対応に積極的に取り組むことで補助金等を活用し、目標を上回る経常収支が達成されている点を評価した。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染症に関する補助金は一時的な制度であり、永続的な収入にはならないので、今後も安定的な経営が継続できるよう、経営統合による利点も最大限活用し、収入の確保に努められるよう期待する。</p>
項目	令和6年度目標																												
医業収支比率	86.4 %																												
経常収支比率	89.4 %																												
項目	令和3年度目標																												
医業収支比率	96.7 %																												
経常収支比率	100.9 %																												
項目	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績																										
医業収支比率	96.7 %	89.6 %	86.7 %																										
経常収支比率	100.6 %	95.4 %	104.5 %																										

項目別評価

大項目	第4 財務内容の改善に関する事項
小項目	2 収入の確保と経費の節減 (1) 収入の確保

中期目標	経営統合による2病院の体制から新病院へと移行していく中で、適切に機能分化及び機能集約を進め、刻々と変化する医療ニーズに対して柔軟に対応することで、安定的に経営を継続することのできる収入を確保すること。また、診療報酬改定や医療制度変革に的確に対応するとともに、未収金の発生予防や請求漏れの防止などにおいて適切な対策を行うこと。
------	--

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価																																														
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等																																													
<p>経営統合に係る2病院体制時の機能分化、新病院への機能集約に加えて、医療スタッフの重点的な配置転換等を行うことで、医療水準の向上及び新たな施設基準の認定、診療報酬の加算等取得することにより収入の向上を図る。</p> <p>また、電子カルテシステムの導入を進め、請求漏れの防止及び業務の効率化により診療報酬の確保を図る。</p>	<p>病院間での機能分化、職員の配置等の見直しを進めることで、医療水準の向上及び新たな施設基準の認定、診療報酬の加算等による収入の確保を図る。</p>	<p>玉野市民病院では令和4年2月から電子カルテシステムの本格導入を行い業務の効率化を図り、請求漏れ防止に寄与できるようにしました。</p>	3	3	<p>新型コロナウイルス感染症によるコロナ禍の影響もあって全国的に入院・外来患者数が大幅な減少となった令和2年度と比較すれば令和3年度は少し回復基調ではあるが、それ以前と比較すれば完全には戻ってはいない状況である。</p> <p>令和3年度は新型コロナウイルス対応に係る補助金を受けられたことにより収入面では一定の確保がなされているが、これは一時的な制度であり、病院収益の根幹でもある入院及び外来による収益を安定的に確保できるよう、引き続き経営改善に努められるよう期待する。</p>																																													
<p>【目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床稼働率</td> <td>89.0 %</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>61,721 人</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>134,506 人</td> </tr> <tr> <td>入院収益</td> <td>17.7 億円</td> </tr> <tr> <td>外来収益</td> <td>11.0 億円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和6年度目標				病床稼働率	89.0 %	入院患者数	61,721 人	外来患者数	134,506 人	入院収益	17.7 億円	外来収益	11.0 億円	<p>【目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和3年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床稼働率</td> <td>73.5 %</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>72,197 人</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>136,717 人</td> </tr> <tr> <td>入院収益</td> <td>21.1 億円</td> </tr> <tr> <td>外来収益</td> <td>10.9 億円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和3年度目標	病床稼働率	73.5 %	入院患者数	72,197 人	外来患者数	136,717 人	入院収益	21.1 億円	外来収益	10.9 億円	<p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床稼働率</td> <td>76.8 %</td> <td>69.5 %</td> <td>71.7 %</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>75,607 人</td> <td>68,192 人</td> <td>70,446 人</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>134,982 人</td> <td>114,726 人</td> <td>114,537 人</td> </tr> <tr> <td>入院収益</td> <td>22.5 億円</td> <td>20.8 億円</td> <td>21.5 億円</td> </tr> <tr> <td>外来収益</td> <td>11.5 億円</td> <td>9.7 億円</td> <td>10.2 億円</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	病床稼働率	76.8 %	69.5 %	71.7 %	入院患者数	75,607 人	68,192 人	70,446 人	外来患者数	134,982 人	114,726 人	114,537 人	入院収益	22.5 億円	20.8 億円	21.5 億円	外来収益
項目	令和6年度目標																																																	
病床稼働率	89.0 %																																																	
入院患者数	61,721 人																																																	
外来患者数	134,506 人																																																	
入院収益	17.7 億円																																																	
外来収益	11.0 億円																																																	
項目	令和3年度目標																																																	
病床稼働率	73.5 %																																																	
入院患者数	72,197 人																																																	
外来患者数	136,717 人																																																	
入院収益	21.1 億円																																																	
外来収益	10.9 億円																																																	
項目	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績																																															
病床稼働率	76.8 %	69.5 %	71.7 %																																															
入院患者数	75,607 人	68,192 人	70,446 人																																															
外来患者数	134,982 人	114,726 人	114,537 人																																															
入院収益	22.5 億円	20.8 億円	21.5 億円																																															
外来収益	11.5 億円	9.7 億円	10.2 億円																																															



項目別評価

大項目	第4 財務内容の改善に関する事項
小項目	2 収入の確保と経費の節減 (2) 経費の節減

中期目標	地方独立行政法人として自主性の高い運営形態であることの利点を生かし、費用のなかでも大きな割合を占める給与費、材料費等について、人事給与制度の見直しや弾力的な人員配置、民間手法も活用した全般的な業務の見直し、効率化によって経費の節減を図ること。
------	---

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価																																	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等																																
<p>2病院が統合することの利点を最大限活用し、新たな人事給与制度のもとで効果的な運用を行うとともに、2病院間及び新病院における効率的な人員配置により給与費の適正化を図る。</p> <p>また、官民の経営手法を活かした業務内容の精査を進め、必要性の有無だけでなく、契約手法から契約内容に至るまでの業務全般にわたる経費の節減を図る。特に、診療材料や薬品等においては、経営統合によるスケールメリットを活かした積極的な価格交渉により費用の圧縮を図る。</p> <p>【目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対医業収益給与費比率</td> <td>71.3 %</td> </tr> <tr> <td>対医業収益材料費比率</td> <td>11.5 %</td> </tr> <tr> <td>対医業収益経費比率</td> <td>17.9 %</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和6年度目標	対医業収益給与費比率	71.3 %	対医業収益材料費比率	11.5 %	対医業収益経費比率	17.9 %	<p>2病院間での効果的な人員の配置を模索し給与費全体の適正化を図るとともに、業務全般にわたる精査を進め、集約及び廃止等により経費の節減を図る。また、診療材料や薬品等においては、品目のすり合せ等によりスケールメリットを活かした積極的な価格交渉を行う。</p> <p>【目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和3年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対医業収益給与費比率</td> <td>69.0 %</td> </tr> <tr> <td>対医業収益材料費比率</td> <td>11.5 %</td> </tr> <tr> <td>対医業収益経費比率</td> <td>20.0 %</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和3年度目標	対医業収益給与費比率	69.0 %	対医業収益材料費比率	11.5 %	対医業収益経費比率	20.0 %	<p>薬剤や診療材料の品目統一を進めてスケールメリットを生かせるよう準備を進めました。</p> <p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和元年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対医業収益給与費比率</td> <td>67.9 %</td> <td>75.2 %</td> <td>79.6 %</td> </tr> <tr> <td>対医業収益材料費比率</td> <td>13.8 %</td> <td>13.3 %</td> <td>11.0 %</td> </tr> <tr> <td>対医業収益経費比率</td> <td>17.2 %</td> <td>18.1 %</td> <td>20.2 %</td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	対医業収益給与費比率	67.9 %	75.2 %	79.6 %	対医業収益材料費比率	13.8 %	13.3 %	11.0 %	対医業収益経費比率	17.2 %	18.1 %	20.2 %	3	3	<p>地方独立行政法人制度への移行により、一部の費目構成が変わったことにより、比率が上昇傾向となっているが、そのなかでも材料費については、2病院間での品目統一やスケールメリットを生かすことで目標を達成することができている。</p> <p>材料費以外の費目においても2病院間での効率化等に取り組むことで、順次改善が進むよう期待する。</p>
項目	令和6年度目標																																				
対医業収益給与費比率	71.3 %																																				
対医業収益材料費比率	11.5 %																																				
対医業収益経費比率	17.9 %																																				
項目	令和3年度目標																																				
対医業収益給与費比率	69.0 %																																				
対医業収益材料費比率	11.5 %																																				
対医業収益経費比率	20.0 %																																				
項目	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績																																		
対医業収益給与費比率	67.9 %	75.2 %	79.6 %																																		
対医業収益材料費比率	13.8 %	13.3 %	11.0 %																																		
対医業収益経費比率	17.2 %	18.1 %	20.2 %																																		

項目別評価

大項目	第4 財務内容の改善に関する事項
小項目	3 運営費負担金

中期目標	市が負担する運営費負担金は、公的な医療機関としての役割を果たすために必要な不採算医療や政策的医療を実施するため、法人の収入のみをもって事業の継続が困難であると認められる経費等について負担されるものであり、財政負担への理解が得られるよう効率的な経営に努め、自立した運営を図ること。
------	---

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
<p>運営費負担金は公的な医療を継続して提供するために救急医療、小児医療などの不採算医療及び政策的医療に係る経費に充当するものとして必要最低限に留め、独立採算の原則に基づき縮減を図る。</p> <p>新病院建設を始めとする建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金については、最大限設備投資に係るコストの縮減を図り、負担の軽減に努める。</p>	<p>運営費負担金は公的な医療を継続して提供するために救急医療、小児医療などの不採算医療及び政策的医療に係る経費に充当するものとして必要最低限に留め、独立採算の原則に基づき縮減を図る。</p> <p>新病院建設を始めとする建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金については、最大限設備投資に係るコストの縮減を図り、負担の軽減に努める。</p>	<p>救急医療や小児医療の政策医療の診療実績を向上させるための取り組みを行うとともに、新将来的な負担軽減を図るため、病院建設等に係る費用の縮減に努めました。</p>	3	3	<p>新病院が開院し施設が統合されるまでの当面の間は、統合初期の移行期を補填する意味で一時的に運営費交付金として措置を行っているが、期間を区切ったものであるもので、独立採算の原則に基づき、安定的な運営が継続されるよう収入の確保と経費の削減に努められるよう期待する。</p>

項目別評価

大項目	第5 その他業務運営に関する重要事項
小項目	1 新病院の整備

中期目標	本市に必要となる規模・機能を備えた新病院となるよう、将来的な医療需要を把握し適切な新病院の整備を進めること。また、その後の施設の維持管理についても適正な管理に努めるとともに、地域全体の医療資源を把握した上で、効果的な整備計画の推進を行うこと。
------	---

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
地域医療の中核を担う病院として、将来的な医療需要も勘案した適正かつ多様な機能を備えた新病院の整備を進めるとともに、本市の医療連携の拠点としての役割を担うことのできる施設とする。	効率的な配置、機能、利用者の利便性を重視した建物と整備費全体のコストの両方を意識した新病院設計業務を進める。	患者の利便性を重視するとともに、職員にとっても使いやすい病院整備を目指し、専門的な知見を活用しながら、設計委託業者との細部にわたる協議を行いました。	3	3	本年度は新病院の設計業務及び施工予定者の選定、建設予定地に現存する既存施設の解体などを実施し、新病院の整備に向けて着実に準備が進んでいる点を評価した。 今後も、施工予定者を含めた設計の作成、建設工事の着手、医療機器の整備等が予定されており、開院に向けて計画的に実施されることを期待する。

項目別評価

大項目	第5 その他業務運営に関する重要事項
小項目	2 新病院への移行

中期目標	新病院の開院に際しては、2病院が持つ機能を1病院へと集約するために、安全に移転作業を進めるとともに、円滑な新病院への移行に努めること。
------	---

中期計画	年度計画	法人による自己評価		玉野市による評価	
		実施状況（評価の判断理由、改善方策）	評価	評価	評価の判断理由・意見等
患者や医療機器の移転から、開院時の混乱を極力減らすことのできるよう、十分な準備のもと、円滑な移行作業を行う。	移転と調達に必要な機器、物品等の整理を行い、新病院への引越し作業に向けた準備を行う。	令和6年度中の新病院開院を目指し、移設と調達に仕訳を行い新病院への移転準備に向けた検討作業を行いました。	3	3	新病院への移転を見据え、医療機器の整理や運用面での課題の洗い出しを始めており、着実に準備が進んでいる点を評価した。 今後、具体的な病院の形が見えてくることで、より具体性をもった議論がなされ、スムーズな新病院への移転が行われることを期待する。

項目別評価

大項目	第6 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画
-----	-------------------------------

1 予算（令和3年度）

(単位:百万円)

区分	R3計画	R3実績
収入		
営業収益	4,161	4,315
医業収益	3,723	3,496
運営費負担金交付金	418	417
その他営業収益	20	402
営業外収益	13	43
運営費負担金	1	1
その他の営業外収益	12	42
資本収入	784	59
運営費負担金	16	16
長期借入金	768	43
その他資本収入	0	0
その他の収入	0	0
計	4,958	4,417
支出		
営業費用	3,969	3,691
医業費用	3,364	3,168
給与費	2,466	2,259
材料費	529	392
経費	358	510
研究研修費	11	7
一般管理費	605	523
営業外費用	39	138
資本支出	810	233
建設改良費	768	203
償還金	42	30
その他の支出	0	0
計	4,818	4,062

2 収支計画（令和3年度）

(単位:百万円)

区分	R3計画	R3実績
収入の部	4,190	4,392
営業収益	4,177	4,338
医業収益	3,723	3,496
運営費負担金交付金	418	434
資産見返負債戻入	16	6
その他営業収益	20	402
営業外収益	13	43
運営費負担金	1	1
その他の営業外収益	12	42
臨時利益	0	11
支出の部	4,162	4,225
営業費用	4,117	4,081
医業費用	3,564	3,528
給与費	2,502	2,476
材料費	529	392
経費	381	510
減価償却費	141	143
研究研修費	11	7
一般管理費	553	553
営業外費用	39	138
臨時損失	6	6
純利益	28	167
目的積立金取崩額	0	0
総利益	28	167

3 資金計画（令和3年度）

(単位:百万円)

区分	R3計画	R3実績
資金収入	4,974	4,130
業務活動による収入	4,206	4,069
診療業務による収入	3,723	3,201
運営費負担金による収入	435	435
その他の業務活動による収入	48	433
投資活動による収入	0	19
その他の投資活動による収入	0	19
財務活動による収入	768	42
長期借入による収入	768	42
その他の財務活動による収入	0	0
前年度からの繰越金	677	1,152
資金支出	4,818	3,940
業務活動による支出	4,007	3,688
給与費支出	2,740	2,590
材料費支出	529	399
その他の業務活動による支出	738	699
投資活動による支出	768	171
有形固定資産の取得による支出	768	171
その他の投資活動による支出	0	0
財務活動による支出	43	81
長期借入金の返済による支出	0	0
移行前地方債償還債務の償還による支出	30	30
その他の財務活動による支出	13	51
次期中期目標期間への繰越金	833	1,342

項目別評価

大項目	第7 短期借入金の限度額
-----	--------------

中期計画	年度計画	実施状況
1 限度額 700百万円 2 想定される短期借入金の発生事由 (1) 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応 (2) 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応 (3) 施設整備、医療機器等の購入に係る一時的な資金不足への対応	1 限度額 700百万円 2 想定される短期借入金の発生事由 (1) 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応 (2) 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応 (3) 施設整備、医療機器等の購入に係る一時的な資金不足への対応	実績なし

大項目	第8 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画
-----	-------------------------

中期計画	年度計画	実施状況
新病院への移転に伴い、玉野市民病院の土地、建物は玉野市への納付又は譲渡を行う。	なし	—

大項目	第9 剰余金の使途
-----	-----------

中期計画	年度計画	実施状況
決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実、将来の資金需要に対応するための預金等に充てる。	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実、将来の資金需要に対応するための預金等に充てる。	年度計画により実施しました

大項目	第10 料金に関する事項
-----	--------------

中期計画	年度計画	実施状況
1 料金 (1) 健康保険法（大正11年法律第70号）、高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）、介護保険法（平成9年法律第123号）、その他の法令等に基づき算定した額 (2) 前号の規定により難しいものについては、別に理事長が定める額  2 料金の減免 理事長は、特別の理由があると認めるときは、料金の全部又は一部を減免することができる。	1 料金 (1) 健康保険法（大正11年法律第70号）、高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）、介護保険法（平成9年法律第123号）、その他の法令等に基づき算定した額 (2) 前号の規定により難しいものについては、別に理事長が定める額  2 料金の減免 理事長は、特別の理由があると認めるときは、料金の全部又は一部を減免することができる。	年度計画により実施しました

項目別評価

大項目	第11 地方独立行政法人玉野医療センターの業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項
-----	--

中期計画	年度計画	実施状況																																											
<p>1 施設及び設備に関する計画（令和3年度～令和6年度） （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>100</td> <td>玉野市長期借入金等</td> </tr> <tr> <td>新病院建設整備</td> <td>7,328</td> <td>玉野市長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 人事に関する計画 （1）適切な人員配置 2病院体制による機能分化を進め、それぞれの病院がもつ役割に合わせた適切な人員配置を行う。 （2）人事・給与制度の構築 統合・再編に伴う人事・給与制度の統一と業績や職責に応じた評価制度の確立を行うとともに、2病院間での人事交流・人事異動等により様々な医療現場での経験を通して人材の育成に努める。</p> <p>3 中期目標の期間を超える債務負担 （1）移行前地方債償還債務（単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>中期目標期間償還額</th> <th>次期以降償還額</th> <th>総債務償還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>133</td> <td>13</td> <td>146</td> </tr> </tbody> </table> <p>（2）長期借入金償還債務（単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>中期目標期間償還額</th> <th>次期以降償還額</th> <th>総債務償還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>99</td> <td>7,299</td> <td>7,328</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 積立金の処分に関する計画 なし</p>	施設及び設備の内容	予定額	財源	病院施設、医療機器等整備	100	玉野市長期借入金等	新病院建設整備	7,328	玉野市長期借入金等	内容	中期目標期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額	移行前地方債償還債務	133	13	146	内容	中期目標期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額	移行前地方債償還債務	99	7,299	7,328	<p>1 施設及び設備に関する計画（令和3年度） （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>50</td> <td>玉野市長期借入金等</td> </tr> <tr> <td>新病院建設整備</td> <td>718</td> <td>玉野市長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 人事に関する計画 （1）適切な人員配置 2病院体制による機能分化を進め、それぞれの病院がもつ役割に合わせた適切な人員配置を行う。 （2）人事・給与制度の構築 統合・再編に伴う人事・給与制度の統一と業績や職責に応じた評価制度の確立を行うとともに、2病院間での人事交流・人事異動等により様々な医療現場での経験を通して人材の育成に努める。</p>	施設及び設備の内容	予定額	財源	病院施設、医療機器等整備	50	玉野市長期借入金等	新病院建設整備	718	玉野市長期借入金等	<p>1 施設及び設備に関する計画（令和3年度） （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>決算額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>43</td> <td>玉野市長期借入金等</td> </tr> <tr> <td>新病院建設整備</td> <td>0</td> <td>玉野市長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 人事に関する計画 （1）適切な人員配置 2病院体制による機能分化を進め、それぞれの病院がもつ役割に合わせた適切な人員配置を行う。また、2病院間での人事異動についても取り組みを進める。 （2）人事・給与制度の構築 統合・再編に伴う人事・給与制度の統一と業績や職責に応じた評価制度の確立を行うとともに、2病院間での人事交流・人事異動等により様々な医療現場での経験を通して人材の育成に努めた。</p>	施設及び設備の内容	決算額	財源	病院施設、医療機器等整備	43	玉野市長期借入金等	新病院建設整備	0	玉野市長期借入金等
施設及び設備の内容	予定額	財源																																											
病院施設、医療機器等整備	100	玉野市長期借入金等																																											
新病院建設整備	7,328	玉野市長期借入金等																																											
内容	中期目標期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額																																										
移行前地方債償還債務	133	13	146																																										
内容	中期目標期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額																																										
移行前地方債償還債務	99	7,299	7,328																																										
施設及び設備の内容	予定額	財源																																											
病院施設、医療機器等整備	50	玉野市長期借入金等																																											
新病院建設整備	718	玉野市長期借入金等																																											
施設及び設備の内容	決算額	財源																																											
病院施設、医療機器等整備	43	玉野市長期借入金等																																											
新病院建設整備	0	玉野市長期借入金等																																											